

東京2020大会

TOKYO2020 / KAWAGOE RECORDS BOOK

川越市の記録



オリンピックシンボルのスペクタキュラー（大型展示物）は、それ単体で魅力的であり、大会機運を盛り上げるとともに、祝祭感を醸成するために設置された。





ごあいさつ

川越市長 **川合善明**
Yoshiaki Kawai

2021年7月に開幕した、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会。東京で2回目の開催となる夏季大会は、人々の心に大きな感動をもたらし、大盛況のうちに幕を閉じました。川越市では、歴史と伝統と風格を併せ持つ名門・霞ヶ関カンツリー倶楽部がゴルフ競技の会場となり、世界のトップ選手たちが一堂に会しました。男子の最高順位4位入賞、女子の最高順位銀メダル獲得という、日本人選手たちの歴史的快挙の舞台が川越であったことを、大変嬉しく、また、光栄に思います。

大会の開催に向けては、東京以外の地方都市におけるオリンピックコンサートの開催や、商店街へのエンブレムバナーフラッグの掲示など、全国初となる事業の実現も含め様々な形で機運の醸成を図ってきました。大会期間中には、川越産の花による市内装飾や、市民の皆さんから集めた折り鶴を使ったクラブハウス内の飾りつけ等、川越独自のおもてなしを展開し、選手や大会関係者の方々にも喜んでいただきました。

前例やお手本のない新しい取り組みを進める中、コロナ禍による大会開催の一年延期や原則無観客での開催等、前代未聞の事態にも直面しました。世界的なスポーツの祭典の開催と、感染対策等の社会情勢への対応という、難しい課題の両立に苦慮したことも数多くあります。しかし、そのような状況下においても、関係者の皆さまのご支援や市民の皆さまのご理解・ご協力により、聖火リレーの実施からゴルフ競技の開催まで無事に走り切ることができました。この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。

この記念誌では、東京2020大会での選手たちの活躍や、大会に向けた川越市の取り組みを、写真を中心とした構成で紹介しています。いつでも大会の記憶に触れることができる資料として、多くの皆さまにご覧いただければ幸いです。

目次

TOKYO2020の記録

TOKYO2020へのあゆみ	1
大会概要	3
ゴルフ競技	5
霞ヶ関カンツリー倶楽部	13
聖火リレー	15
ゆかりの選手	19
都市ボランティア	31

川越市の取り組み

PEACE ORIZURU	33
市内装飾	35
JOC関連	39
各種イベント	43
パラ聖火ビジット・聖火リレートーチ展示	51
タイ王国との交流	53
未来への継承	55
支援委員会・特別委員会	57





写真：西村尚己/アフロスポーツ

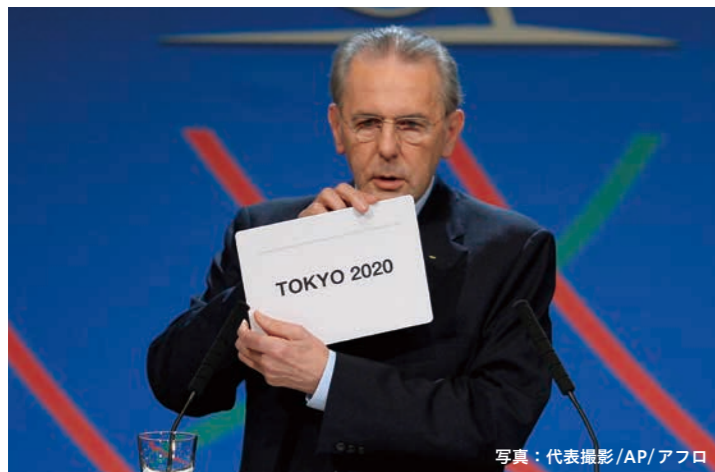


写真：アフロスポーツ

TOKYO2020 の記録

TOKYO2020へのあゆみ

2013.9



東京開催決定
ゴルフ競技会場：霞ヶ関カンツリー倶楽部

●霞ヶ関カンツリー倶楽部
東コース改造完成
2016.10

●リオデジャネイロ
大会開催
2016.7

●エンブレム決定
2016.4

2016.7
●東京2020川越市
基本方針策定

2016.4



●オリンピック大会室へ改正

2014.11

●東京2020川越市支援
委員会設置

2015.7



●オリンピックコンサートin川越 初開催

2014.4
●オリンピック大会
準備室設置

●平昌大会開催
2018.2

●マスコット決定
2018.2

●開催延期決定
2020.3

●無観客開催決定
2021.7

●オリンピック
聖火リレースタート
2021.3



●新国立競技場オープン



2019.12

2019.4

●ホストタウン登録
タイ王国

2021.7

●オリンピック聖火リレー実施

2018.7

●エンブレムバナー
フラッグ初設置

2017.8

●川越おもてなしプラン策定

2021.7.23-8.8



TOKYO2020開催
ゴルフ競技7/29スタート

大会概要

オリンピック

正式名称 第32回オリンピック競技大会（2020／東京）
 開催期間 2021年7月23日（金）～8月8日（日）[17日間]
 競技数 33競技

パラリンピック

正式名称 東京2020パラリンピック競技大会
 開催期間 2021年8月24日（火）～9月5日（日）[13日間]
 競技数 22競技

東京2020大会エンブレム



組市松紋

- 日本の伝統的な柄の一つ「市松模様」を同じく日本の伝統色の「藍色」で描き、粋な日本らしさを表現。
- エンブレムを構成する四角形は3種類。異なる形は人々の多様性を表し、かつ、それらが組み合わせられて一つのマークを形成することに、国家・文化・思想などあらゆる違いを越えて人々が繋がり合う「多様性と調和」の意味を込めている。
- オリンピック大会とパラリンピック大会それぞれのエンブレムは、形も数も同じ四角形を使用している。全く同じ45ピースのパーツを組み替えて作ることができる二つのエンブレムは、全てが平等である証。

ピクトグラム

- 1964年の東京大会の際に誕生した、スポーツピクトグラム。世界中の人々が集まる大会で、言語に関係なく誰もが理解できる情報伝達の方法として考案された。
- どの競技の会場であるかなどが一目で分かる優れたデザインとして世界中から評価され、以降の大会においても開催国ごとに工夫したデザインが作成されるようになった。
- 東京2020大会のピクトグラムは、1964年のデザインが目指した「情報伝達」の考え方を継承しつつ発展させ、躍動するアスリートの動きを魅力的に引き出す設計で開発された。
- オリンピックの開会式では、パントマイムで全ピクトグラムを表現するパフォーマンスが話題を呼んだ。



ゴルフ競技を表すピクトグラム

マスコット

ミライトワ
MIRAITOWA

オリンピックのマスコット。
 「未来」
 「永遠（とわ）」
 素晴らしい未来を永遠にと
 という願いが込められている。
 世界の人々の心に希望に満
 ちた未来を輝かせる。



ソメイティ
SOMEITY

パラリンピックのマスコット。
 「ソメイヨシノ」
 「so mighty」
 美しい桜を愛でる日本伝統の
 心と、パラリンピックのアス
 リートたちの素晴らしさを印
 象付ける。

マスコットは、オリンピック・パラリンピックのシンボルとなるキャラクターであり、開催国の文化や魅力を紹介する存在として重要な役割を果たす。国内外を問わず多くの人々を歓迎し大会を盛り上げるだけでなく、マスコット自身が人々の心に残る思い出深い存在になっている。

東京2020大会では、最終選考を全国の小学生の投票によって行う史上初の取り組みを経て、ミライトワとソメイティが誕生した。

日本人選手のメダル獲得数



オリンピック

- 金メダル…27個
- 銀メダル…14個
- 銅メダル…17個

計58個
史上最多



パラリンピック

- 金メダル…13個
- 銀メダル…15個
- 銅メダル…23個

計51個
史上No.2

東京2020大会に必要なメダルの数は、全部で約5,000個。
 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」により全国各地から集められた携帯電話・パソコン・デジタルカメラなどの小型家電から金属を抽出して制作された。集められた小型家電の量は約78,985トン、携帯電話は約621万台。環境に配慮し、資源を有効活用する史上初の取り組みであり、川越市も参加した。

ゴルフ競技 男子1日目

- 1位 S. ストラカ (-8)
- 2位 J. ジェーンワタナノンド (-7)
- 3位 T C. オルティス (-6)
- T. ピーターズ (-6)
-
- 20位 T 松山 英樹 (-2)
- 41位 T 星野 陸也 (0)



2021/7/29-8/1

霞ヶ関カンツリー倶楽部 東コース 7,447yd
60名出場 (35の国と地域)

S. ストラカ
(オーストリア)



写真: AP/アフロ

ゴルフ競技 男子2日目

X. シャウフェレ
(アメリカ)



写真: ロイター/アフロ

J. ジェーンワタナノンド
(タイ)



写真: ロイター/アフロ

T. ピーターズ
(ベルギー)



写真: AP/アフロ

C. オルティス
(メキシコ)



写真: AP/アフロ

- 1位 X. シャウフェレ (-11)
- 2位 C. オルティス (-10)
- 3位 松山 英樹 (-9)
-
- 24位 T 星野 陸也 (-3)

松山英樹
(日本)



C. オルティス
(メキシコ)

写真: USA TODAY Sports/ロイター/アフロ

星野陸也
(日本)



写真: USA TODAY Sports/ロイター/アフロ



写真: USA TODAY Sports/ロイター/アフロ

松山英樹
(日本)



写真: YUTAKA/アフロスポーツ

星野陸也
(日本)



写真: AP/アフロ

ゴルフ競技 男子3日目

- 1位 X.シャウフェレ (-14)
 - 2位 松山 英樹 (-13)
 - 3位T C.オルティス (-12)
 - P.ケーシー (-12)
-
- 46位T 星野 陸也 (-1)



松山英樹
(日本)

写真：ロイター/アフロ

X. シャウフェレ
(アメリカ)

写真：AP/アフロ



C. オルティス
(メキシコ)

写真：ロイター/アフロ



P. ケーシー
(イギリス)

写真：AP/アフロ



星野陸也
(日本)

写真：ロイター/アフロ



ゴルフ競技 男子4日目

写真：新華社/アフロ

X. シャウフェレ
(アメリカ)



写真：アフロスポーツ

- 1位 X.シャウフェレ (-18)
 - 2位 R.サバティーニ (-17)
 - 3位 C.T.パン (-15/プレーオフ勝利)
-
- 4位T 松山 英樹 (-15)
 - 38位T 星野 陸也 (-6)



R. サバティーニ
(スロバキア)

写真：新華社/アフロ



C.T. パン
(台湾)

写真：USA TODAY Sports/ロイター/アフロ



松山英樹
(日本)

写真：青木敏二/アフロスポーツ



星野陸也
(日本)

写真：青木敏二/アフロスポーツ

ゴルフ競技 女子1日目

- 1位 M.サグストロム (-5)
- 2位T A.アショク (-4)
N.コルダ (-4)

- 16位T 稲見 萌寧 (-1)
畑岡 奈紗 (-1)

2021/8/4-8/7

霞ヶ関カンツリー倶楽部
東コース 6,648yd
60名出場 (35の国と地域)



M. サグストロム
(スウェーデン)

写真: AP/アフロ



A. アショク
(インド)

写真: AP/アフロ



N. コルダ
(アメリカ)

写真: 新華社/アフロ



稲見萌寧
(日本)

写真: アフロスポーツ



畑岡奈紗
(日本)

写真: USA TODAY Sports/ロイター/アフロ

ゴルフ競技 女子2日目



N. コルダ
(アメリカ)

写真: ロイター/アフロ



N. マドセン
(デンマーク)

写真: AP/アフロ



EK. ペテルセン
(デンマーク)

写真: 新華社/アフロ

- 1位 N.コルダ (-13)
- 2位T A.アショク (-9)
EK.ペテルセン (-9)
N.マドセン (-9)

- 6位T 稲見 萌寧 (-7)
- 11位T 畑岡 奈紗 (-4)



A. アショク
(インド)

写真: ロイター/アフロ



稲見萌寧
(日本)

写真: アフロ



畑岡奈紗
(日本)

写真: ロイター/アフロ

ゴルフ競技 女子3日目

写真：新華社/アフロ



N. コルダ
(アメリカ)

- 1位 N. コルダ (-15)
- 2位 A. アショク (-12)
- 3位T EK. ペテルセン (-10)
稲見 萌寧 (-10)
L. コー (-10)
H. グリーン (-10)
- 7位T 畑岡 奈紗 (-8)

写真：新華社/アフロ



EK. ペテルセン
(デンマーク)

A. アショク
(インド)



写真：AP/アフロ

H. グリーン
(オーストラリア)



写真：ロイター/アフロ

稲見萌寧
(日本)



写真：ロイター/アフロ

L. コー
(ニュージーランド)



写真：ロイター/アフロ

畑岡奈紗
(日本)



写真：AP/アフロ

ゴルフ競技 女子4日目

N. コルダ
(アメリカ)



写真：USA TODAY Sports/ロイター/アフロ

写真：AP/アフロ



- 1位 N. コルダ (-17)
- 2位 稲見 萌寧 (-16/プレーオフ勝利)
- 3位 L. コー (-16)
- 9位T 畑岡 奈紗 (-10)

稲見萌寧
(日本)



写真：アフロスポーツ

畑岡奈紗
(日本)

写真：ロイター/アフロ



L. コー
(ニュージーランド)



写真：ロイター/アフロ

霞ヶ関カンツリー倶楽部

East Courses No18

霞ヶ関カンツリー倶楽部のあゆみ

[1927年]

- 発智庄平翁の銅像除幕式が行われ、ゴルフ場建設の話が持ち上がる。

[1929年]

- 2月に発起人会を開催し、ゴルフ場工事に着工。
- 5月に霞ヶ関カンツリー倶楽部創立総会。
- 10月に18ホール（現在の東コース）が竣工し、開場式を実施。

[1930年]

- 開場1周年となる10月に日本初のゴルフ倶楽部会報『Fairway』創刊。

[1931年]

- C.H.アリソン氏の設計により東コースを改造。

[1932年]

- 西コースが開場し、日本初の36ホールを有するゴルフ場に。

[1936年]

- 発智庄平翁が死去。

[1950年]

- 戦時中に譲渡した土地の買い戻しが始まる。

[1954年]

- 全コースの復旧が完了。

[1957年]

- 第5回カナダカップ開催。

[2014年]

- 東京2020オリンピック競技大会ゴルフ競技会場に決定。

[2016年]

- オリンピックで使用される東コースの改造が完了。

[2017年]

- 安倍晋三内閣総理大臣（当時）とドナルド・トランプアメリカ合衆国大統領（当時）のゴルフ外交。

[2021年]

- 東京2020オリンピック競技大会ゴルフ競技開催。



川越市マスコット
キャラクター
ときも



Photo by Koji Aoki/AFLO

かかわった人々

発智庄平翁

地元の篤志家であり、教育家。高等小学校の校長や銀行頭取、霞ヶ関村の村長や育児院院長を歴任するなど、様々な形で教育・社会貢献に努める。

教え子たちが発智庄平翁の銅像を建立し、その除幕式が行われた際に招待客の一人がゴルフ場の建設を提案。初めてゴルフというスポーツを知り、ゴルフ場を造ることが地域の振興に繋がると考えて建設計画を開始した。交通の便の悪さなどが理由で一度は中断してしまうものの、地域発展のためにと決意した発智庄平翁が3万円（現在の価値で5千万円以上）もの建設費を無利息で提供。更に地代に破格の好条件を提示したことでゴルフ場建設計画が再始動し、霞ヶ関カンツリー倶楽部の創設に至ることとなった。

チャールズ・ヒュー・アリソン氏

イギリス出身の世界的なゴルフコース設計者。自然との調和、戦略が要求されるコース、日本庭園のような様式美が特徴の設計思想に基づき、日本でもいくつものコース設計や監修・改造を手がけた。

1930年に視察の途中で立ち寄った霞ヶ関カンツリー倶楽部の東コースに強く感動し、自らコースの改造を申し出た。10番ホールなどに設置された深く大きい「アリソンバンカー」は、霞ヶ関カンツリー倶楽部の名物にもなっている。

日本初の国際試合開催～TOKYO2020

戦時中には土地の一部を農用地として譲渡し、また軍の資材疎開地として徴用されるなど、苦難の日々が続いた霞ヶ関カンツリー倶楽部。

終戦と同時に一時米軍に接収されるものの、復旧整備や土地の買い戻しが進められ、1954年（昭和29年）に全36ホールの復旧が完了しました。

3年後の1957年（昭和32年）には国際試合「第5回カナダカップ（現在のワールドカップ）」が日本で初めて開催され、その舞台となった霞ヶ関カンツリー倶楽部の名は一躍世界へ知られるものとなります。大会の様子はゴルフ競技としては国内で初めてテレビ中継され、個人・団体ともに優勝を飾った日本人選手の活躍に国中が沸き上がりました。これにより日本のゴルフ熱は一気に高まり、各地にゴルフブームをもたらしたと言われています。

それから半世紀以上の時を経て、同倶楽部はオリンピック会場として再び世界から注目を浴びることとなりました。

国際基準のコース

2016年（平成28年）に再び改造された東コースは、かつてのアリソン氏によるクラシカルな印象を残しつつ、国際舞台にふさわしい戦略的かつダイナミックなコースとして生まれ変わりました。

フェアウェイの適度なうねりと傾斜のあるグリーンをガードするアリソンバンカーが特徴で、正確なアイアンショットが求められる難易度の高さを誇ります。

倶楽部のスタッフの手によって丁寧に整備されたグリーンのはりやかさは格別のもので、東京2020大会に出場した選手たちにも「最高のコンディション」「完璧で素晴らしいコース」と絶賛されました。

聖火リレー

2021/7/8 全9区間 1.6km



- 第1走者
富樫 陽子さん
川越城本丸御殿前～
- 第2走者
河邊 誠造さん
川越市立博物館前～
- 第3走者
立原 雅夫さん
郭町交差点付近～



聖火リレー

第4走者

西 えりかさん
川越市公用車駐車場前～

第5走者

飯島 豊治さん
川越市役所前～

第6走者

木村 優衣さん
札の辻交差点付近～



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020

第7走者

渡邊 由香さん
陶舗やまわ前～

第8走者

筑波 伸夫さん
鍛冶町広場前～

第9走者

星 忠利さん
蓮馨寺付近～連雀町交差点



写真：USA TODAY Sports/ロイター/アフロ

我妻悠香

我妻 悠香 (あがつま はるか)

1994年12月18日生まれ
ソフトボール (ポジション：捕手)

- ▶ 結果：金メダル獲得
- ▶ 川越市とのゆかり：星野高等学校出身



写真：長田洋平/アフロスポーツ



写真：長田洋平/アフロスポーツ

森さやか

森 さやか (もり さやか)

1988年9月29日生まれ
ソフトボール (ポジション：外野手)

- ▶ 結果：金メダル獲得
- ▶ 川越市とのゆかり：星野高等学校出身



写真：長田洋平/アフロスポーツ



写真：YUTAKA/アフロスポーツ

ゆかりの選手



写真：西本武司/アフロ

池田 向希 (いけだ こうき)

1998年5月3日生まれ
陸上競技男子 20km競歩

- ▶ 結果：銀メダル獲得
- ▶ 川越市とのゆかり：東洋大学陸上競技部出身



池田向希



写真：USA TODAY Sports/ロイター/アフロ

宮崎 早織 (みやざき さおり)

1995年8月27日生まれ
バスケットボール女子 (ポジション：PG)

- ▶ 結果：銀メダル獲得
- ▶ 川越市とのゆかり：南古谷小学校出身



写真：森田直樹/アフロスポーツ

宮崎早織



写真：青木絃二/アフロスポーツ

ゆかりの選手



萩原 紀佳 (はぎわら のりか)

2001年3月3日生まれ
ゴールボール女子

▶ 結果：銅メダル獲得
▶ 川越市とのゆかり：県立特別支援学校鳩保己一学園出身



写真：SportsPressJP/アフロ

萩原紀佳



写真：SportsPressJP/アフロ



塩越 柚歩 (しおこし ゆずほ)

1997年11月1日生まれ
サッカー女子 (ポジション：MF)

▶ 結果：8位 (入賞)
▶ 川越市とのゆかり：仙波小学校・城南中学校出身

写真：ムツ・カワモリ/アフロ



岸本 新菜 (きしもと にいな)

1995年11月30日生まれ
トライアスロン女子個人
トライアスロン混合リレー

▶ 結果：途中棄権
13位
▶ 川越市とのゆかり：大東西小学校・大東西中学校出身

写真：長田洋平/アフロスポーツ

ゆかりの選手



写真：長田洋平/アフロスポーツ

ウォルシュ ジュリアン

1996年9月18日生まれ
陸上競技男子 400m
陸上競技男子 4 × 400m リレー

- ▶ 結果：予選 4組 6着
予選 2組 5着
- ▶ 川越市とのゆかり：
東洋大学陸上競技部出身



写真：千葉格/アフロ

桐生 祥秀 (きりゅう よしひで)

1995年12月15日生まれ
陸上競技男子 4 × 100m リレー

- ▶ 結果：途中棄権
- ▶ 川越市とのゆかり：東洋大学陸上競技部出身

相澤 晃 (あいざわ あきら)

1997年7月18日生まれ
陸上競技男子 10000m

- ▶ 結果：17位
- ▶ 川越市とのゆかり：
東洋大学陸上競技部出身



写真：松尾/アフロスポーツ

鈴木 碧斗 (すずき あおと)

2001年5月30日生まれ
陸上競技男子 4 × 400m リレー

- ▶ 結果：予選 2組 5着
- ▶ 川越市とのゆかり：
東洋大学陸上競技部所属



写真：YUTAKA/アフロスポーツ



写真：AP/アフロ

伊藤 達彦 (いとう たつひこ)

1998年3月23日生まれ
陸上競技男子 10000m

- ▶ 結果：22位
- ▶ 川越市とのゆかり：
東京国際大学出身



写真：ロイター/アフロ

津波 響樹 (つは ひびき)

1998年1月21日生まれ
陸上競技男子走幅跳

- ▶ 結果：予選 2組 14位
- ▶ 川越市とのゆかり：
東洋大学陸上競技部出身

ゆかりの選手

服部 勇馬 (はっとり ゆうま)

1993年11月13日生まれ
陸上競技男子マラソン

- ▶ 結果：73位
- ▶ 川越市とのゆかり：東洋大学陸上競技部出身



写真：西本武司/アフロ

川野 将虎 (かわの まさとら)

1998年10月23日生まれ
陸上競技男子50km競歩

- ▶ 結果：6位(入賞)
- ▶ 川越市とのゆかり：東洋大学陸上競技部出身



写真：西本武司/アフロ

高宮 なつ美 (たかみや なつみ)

1991年8月22日生まれ
近代五種

- ▶ 結果：34位
- ▶ 川越市とのゆかり：県立川越南高等学校出身



写真：長田洋平/アフロスポーツ



写真：AP/アフロ

須長 由季 (すなが ゆき)

1980年12月28日生まれ
セーリング女子RS:X級

- ▶ 結果：12位
- ▶ 川越市とのゆかり：星野高等学校出身

宮本 昌典 (みやもと まさのり)

1997年2月3日生まれ
ウェイトリフティング男子73kg級

- ▶ 結果：7位(入賞)
- ▶ 川越市とのゆかり：東京国際大学出身



写真：アフロスポーツ

土屋 美奈子 (つちや みなこ)

1990年1月5日生まれ
柔道女子70kg超級(視覚障害)

- ▶ 結果：7位(入賞)
- ▶ 川越市とのゆかり：牛窪道場出身



写真：SportsPressJP/アフロ

ゆかりの選手



写真：森田直樹/アフロスポーツ

金子 和也 (かねこ かずや)

2000年2月8日生まれ
ゴールボール男子

- ▶ 結果：5位 (入賞)
- ▶ 川越市とのゆかり：
県立特別支援学校鳩保己一学園出身

佐野 優人 (さの ゆうと)

2000年6月20日生まれ
ゴールボール男子

- ▶ 結果：5位 (入賞)
- ▶ 川越市とのゆかり：
県立特別支援学校鳩保己一学園出身



写真：ロイター/アフロ

西田 杏 (にしだ あん)

1996年9月3日生まれ
競泳女子 50m バタフライ S7

- ▶ 結果：8位 (入賞)
- ▶ 川越市とのゆかり：
県立川越女子高等学校出身



写真：松尾/アフロスポーツ

埼玉県ゆかりの選手

	氏名	競技・種目	結果
オリリンピック	柳澤 明希	アーティスティックスイミング チーム	4位入賞
	瀬戸 大也	競泳男子 200m バタフライ 競泳男子 200m 個人メドレー 競泳男子 400m 個人メドレー	4位入賞
	酒井 夏海	競泳女子 4 × 100m リレー	
	高橋 航太郎	競泳男子 4 × 200m リレー	
	足立 聖弥	水球男子	
	荒井 陸	水球男子	
	大川 慶悟	水球男子	
	コップ 晴紀イラリオ	水球男子	
	志水 祐介	水球男子	
	鈴木 透生	水球男子	
	稲場 朱里	水球女子	
	岩野 夏帆	水球女子	
	工藤 恭子	水球女子	
	徳用 万里奈	水球女子	
	橋田 舞子	水球女子	
	山本 実乃里	水球女子	
	山内 大夢	陸上競技男子 400m ハードル	
	青木 涼真	陸上競技男子 3,000m 障害	
	佐藤 拳太郎	陸上競技男子 4 × 400m リレー	
	橋岡 優輝	陸上競技男子走幅跳	6位入賞
岡田 久美子	陸上競技女子 20km 競歩		
河添 香織	陸上競技女子 20km 競歩		
勝木 隼人	陸上競技男子 50km 競歩		
奥原 希望	バドミントン女子シングルス	5位入賞	
遠藤 大由	バドミントン男子ダブルス	5位入賞	
源田 社亮	野球	金メダル獲得	
平良 海馬	野球	金メダル獲得	
落合 知也	3x3 バスケットボール男子	6位入賞	
保岡 龍斗	3x3 バスケットボール男子	6位入賞	
本橋 菜子	バスケットボール女子	銀メダル獲得	
成松 大介	ボクシング男子ライト級		
森脇 唯人	ボクシング男子ミドル級		
並木 月海	ボクシング女子フライ級	銅メダル獲得	
矢澤 亜季	カヌー (スラローム) 女子 カヤック (K-1)		
藤嶋 大規	カヌー (スプリント) 男子 カヤックフォア (K-4) 500m		
松下 桃太郎	カヌー (スプリント) 男子 カヤックシングル (K-1) 200m カヌー (スプリント) 男子 カヤックフォア (K-4) 500m		
梶原 悠未	自転車競技 トラック女子オムニアム 自転車競技 トラック女子マディソン	銀メダル獲得	
上野 優佳	フェンシング女子フルーレ個人 フェンシング女子フルーレ団体	6位入賞 6位入賞	
山田 優	フェンシング男子エペ個人 フェンシング男子エペ団体	6位入賞 金メダル獲得	
酒井 宏樹	サッカー男子	4位入賞	
鈴木 彩艶	サッカー男子	4位入賞	
橋岡 大樹	サッカー男子	4位入賞	
池田 咲紀子	サッカー女子	8位入賞	
木下 桃香	サッカー女子	8位入賞	
菅澤 優衣香	サッカー女子	8位入賞	
長谷川 唯	サッカー女子	8位入賞	
南 萌華	サッカー女子	8位入賞	
平岩 優奈	体操女子団体	5位入賞	
亀山 耕平	体操男子種目別あん馬	5位入賞	
土井 レミイ 杏利	ハンドボール男子		
元木 博紀	ハンドボール男子		
吉野 樹	ハンドボール男子		
北里 謙治	ホッケー男子		
新井 千鶴	柔道女子 70kg 級 柔道男女混合団体戦	金メダル獲得 銀メダル獲得	
濱田 尚里	柔道女子 78kg 級 柔道男女混合団体戦	金メダル獲得 銀メダル獲得	
染谷 真有美	空手組手女子 61kg 級	7位入賞	
岩元 勝平	近代五種男子		
島津 玲奈	近代五種女子		
荒川 龍太	ボート男子シングルスカル		
藤田 慶和	7人制ラグビー男子		
大谷 芽生	7人制ラグビー女子		
梶木 真凜	7人制ラグビー女子		

	氏名	競技・種目	結果
オリリンピック	小出 深冬	7人制ラグビー女子	
	パティヴァカロロ ライチエル海運	7人制ラグビー女子	
	松本 崇志	射撃男子 10m エアライフル個人 射撃混合 10m エアライフル団体 射撃男子 50m ライフル 3 姿勢個人	
	山田 聡子	射撃女子 10m エアピストル個人 射撃混合 10m エアピストル団体 射撃女子 25m ピストル個人	
	大山 重隆	射撃男子トラップ個人 射撃混合トラップ団体	5位入賞
	中山 由起枝	射撃女子トラップ個人 射撃混合トラップ団体	5位入賞
	丹羽 孝希	卓球男子シングルス 卓球男子団体	銅メダル獲得
	石島 雄介	ビーチバレーボール男子	
	三宅 宏実	ウエイトリフティング女子 49kg 級	
	安藤 美希子	ウエイトリフティング女子 59kg 級	銅メダル獲得
	乙黒 拓斗	レスリング男子フリースタイル 65kg 級	金メダル獲得
	乙黒 圭祐	レスリング男子フリースタイル 74kg 級	

	氏名	競技・種目	結果
パラリンピック	小久保 寛太	陸上競技男子走幅跳 (知的障害 T20)	4位入賞
	小須田 潤太	陸上競技男子 100m (義足 T63)	
	山崎 晃裕	陸上競技男子走幅跳 (義足 T63)	7位入賞
	高桑 早生	陸上競技男子やり投 (上肢障害 F46)	7位入賞
	古屋 杏樹	陸上競技女子 100m (義足 T64)	
	村岡 桃佳	陸上競技女子走幅跳 (義足 T64)	8位入賞
	長島 理	陸上競技女子 1500m (知的障害 T20)	4位入賞
	小倉 理恵	陸上競技女子 100m (車いす T54)	6位入賞
	鈴木 亜弥子	バドミントン男子シングルス (車いす WH1) バドミントン女子シングルス (車いす WH2)	5位入賞
	鈴木 亜弥子	バドミントン女子シングルス (上肢障害 SU5) バドミントン女子ダブルス (SL3-SU5)	銀メダル獲得 銅メダル獲得
	高橋 和樹	ポッチャ混合個人 (脳性まひ・運動機能障害 BC3) ポッチャ混合ペア (脳性まひ・運動機能障害 BC3)	銀メダル獲得
	高嶋 活士	馬術混合 個人課目 (グレードIV) 馬術混合 団体課目 (グレードIV)	
	正木 健人	柔道男子 100kg 超級 (視覚障害 B2)	7位入賞
	八尾 陽夏	ボート混合 PR3 舵手つきフォア	
	立田 寛之	ボート混合 PR3 舵手つきフォア (舵手)	
	小池 さくら	競泳女子 400m 自由形 (運動機能障害 S7)	6位入賞
	木村 潤平	トライアスロン男子 PTWC (車いす PTWC1)	6位入賞
	眞田 卓	車いすテニス男子シングルス 車いすテニス男子ダブルス	4位入賞
	三木 拓也	車いすテニス男子シングルス 車いすテニス男子ダブルス	
	高室 牙綺	車いすテニス女子シングルス 車いすテニス女子ダブルス	5位入賞
	田中 愛美	車いすテニス女子シングルス 車いすテニス女子ダブルス	5位入賞
	菅野 浩二	車いすテニス混合上肢障害シングルス 車いすテニス混合上肢障害ダブルス	4位入賞 銅メダル獲得
	田口 侑治	ゴールボール男子	5位入賞
	宮食 行次	ゴールボール男子	5位入賞
	山口 凌河	ゴールボール男子	5位入賞
	若杉 遼	ゴールボール女子	銅メダル獲得
	高砂 進	シットイングバレーボール男子	
	藤井 順子	シットイングバレーボール女子	
	赤石 竜我	車いすバスケットボール男子	銀メダル獲得
	藤澤 潔	車いすバスケットボール男子	銀メダル獲得
小田島 理恵	車いすバスケットボール女子	6位入賞	
土田 真由美	車いすバスケットボール女子	6位入賞	
倉橋 香衣	車いすラグビー混合	銅メダル獲得	
島川 慎一	車いすラグビー混合	銅メダル獲得	
中町 俊郎	車いすラグビー混合	銅メダル獲得	
羽賀 理之	車いすラグビー混合	銅メダル獲得	

都市ボランティア

会場入りする選手のお出迎えや
会場周辺の清掃活動を実施しました。

7/29



8/4



7/30



8/5



7/31



8/6



8/1



8/7

